

学生の皆さんへ

春休みにあたり健康管理上の諸注意について

現在、新型インフルエンザが流行し、ノロウイルス等の感染性胃腸炎などは、年間を通して多数発生しています。さらに結核は、多くの日本人にとって忘れられていた病気ですが、今も毎年約3万人の患者が発生している感染症です。

本学では感染症の予防、感染拡大防止への取り組みとして、京都府新型インフルエンザ対策本部、京都市右京保健所等と連携して情報収集を行いながら各種対策を講じています

春休みにあたり学生の皆様にあつては、下記の事項に注意し、感染症の予防等健康管理に努めてください。

記

1 インフルエンザや感染性胃腸炎などの予防

- 手洗い・うがいは、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症を予防する上で非常に大切です。食事の前やトイレの後にまた、外出から帰宅したときなどの手洗い・うがいを習慣づけるよう心がけましょう。
- 手洗い・うがいが有効と考えられる主な感染症
 - ◇インフルエンザ（新型を含む） ◇感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルスなど）
 - ◇腸出血性大腸菌感染症（O157） ◇手足口病 ◇流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）
 - ◇A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2 結核を防ぐための予防と治療

- 健康的な生活習慣
 - ◇かつて結核が流行したのは、貧困から栄養状態が悪く、病気でも労働を続けなくてはならなかったため。食生活などに気をつけ、体調を整えていれば、感染しても一生発病しない可能性が高いのです。
 - ◇初期症状が続いたら医師の診断を
 - 咳、たん、発熱、血たん、胸痛、だるさ、寝汗などの症状が続いたら、医師の診断を受けましょう。
 - ◇短期間の治療で直せます。
 - 現在は結核によく効く薬ができ、薬を6ヶ月間ほど服用すれば治療できるようになっています。

3 医務室への連絡

感染症様症状がある場合は、電話で医務室に症状を連絡し、受診等についての指示を受けてください。

4 特記

- 定期健康診断の全員受診
 - ◇4月7日（木）から9日（土）の3日間、学生定期健康診断が行なわれます。定期健康診断は、皆さんの健康をチェックし健康の維持増進を図ることが目的ですから、必ず受診してください。

2011年（平成23年）2月